

# 令和元年度事業報告書

自 平成31年4月 1日

至 令和 2年3月31日

公益財団法人 海原会

# 令和元年度事業報告書

自 平成31年4月1日  
至 令和2年3月31日

海原会は、その前身である「予科練の碑保存顕彰会」が昭和42年5月に発足して以来約半世紀にわたり予科練戦没者の慰霊と顕彰の為の事業を継続して参りました。この間、昭和53年にはその活動をより組織的に行うために、高松宮殿下を名誉顧問にお迎えして財団法人海原会を設立し現在に至っております。

しかしながら、会員数も600名を割り込み、会の運営が徐々に難しくなっているは遺憾ながら否めない現実であります。令和元年度はこのような現状に鑑み、会の目的であります予科練戦没者の慰霊と顕彰の為の活動に従事するかたわら、昨年度に引き続き会員の募集にも力を入れて参りましたが、退会者数を補うまでにはその成果が得られておりません。

次年度以降、会勢の増大が喫緊の課題となっております。

また、本年度は中国本土に発生源をもつ新型コロナウイルスの感染拡大のために、参加予定の多くの行事が中止となり、慰霊顕彰事業のうち自衛隊を始めとする友誼団体等との人的交流促進と連携をはかることができませんでした。

若くして自らの命を投げ打って国難に殉じた予科練同窓英霊の思いを継承するという当会の目的を達成するために、令和元年度の事業も全員が一丸となって精進してまいりました。

以下その概要を御報告いたします。

## I 慰霊顕彰事業

慰霊顕彰事業の最も重視しているものは、陸上自衛隊武器学校の敷地内に造営されている「雄翔園」における「予科練戦没者慰霊祭」であります。令和元年度は若葉薫る5月に実施いたしました。初夏の香りを感じさせる快晴のもと約300名のご遺族・同窓生及びご来賓の皆様、日本全国からご参列頂き、厳粛かつ和やかな慰霊祭を挙行することができました。

また、「予科練戦没者慰霊祭」以外に全国各地で行われた慰霊祭にも、海原会役員を出席させる等本会の目的である予科練出身戦没者の慰霊・顕彰を推進しました。その主要なものは以下に記述するとおりであります。

### 1 慰霊事業

(1) 第52回予科練戦没者慰霊祭

ア 特別展示会

平成31年4月23日(火)～6月2日(日)の間、雄翔館において、乙飛第18期 山岸啓佑海軍少尉の実弟山岸修次様所蔵遺品・遺書等の展示会を開催しました。

期間中、4,527名の見学をいただき成功裏に終了いたしました。

この際、地元茨城新聞社の取材を受け4月28日版茨城新聞に掲載され、新聞記事を見た多くの市民の皆さんから問い合わせをいただき、予科練及び海原会の広報に大きな効果が認められました。

イ 第52回予科練戦没者慰霊祭

(ア) 予科練戦没者を偲ぶ集い

慰霊式典の前日 平成31年6月1日(土) 午後5時半からホテルマロウド筑波において、「予科練戦没者を偲ぶ集い」を開催いたしました。武器学校副校長をはじめ、79名の出席者をお迎えして、約2時間に及ぶ偲ぶ集いは和やかな雰囲気で行われました。今回は、偲ぶ会終了後にホテルレストランにおいて二次会を計画したところ、約20名のご遺族や同窓が参加し、相互に情報の交換を行いました。

(イ) 慰霊祭

a 日時 : 令和元年6月2日(日) 午前11時から12時10分

b 場所 : 陸上自衛隊武器学校内「雄翔園」

c 内容

(a) 慰霊式典

○ 式典開始に先立ち、本年2月14日に顧問に就任された池太郎氏及びハワイから参加された太平洋航空博物館顧問のギャレメイヤー名誉会員が紹介されました。

○ 実行委員長 酒井副理事長の開式の辞に引き続き、国歌吹奏・黙祷・献火・高松宮妃殿下御歌奉詠・式辞・遺稿朗読・献花の後、ご来賓代表として海上自衛隊教育航空集団司令官 海将 西成人 様、及び陸上自衛隊 武器学校長 眞弓康次 様並びに阿見町町長 千葉繁 様のご挨拶に引き続き、ご遺族代表、乙種飛行予科練習生 第18期 故山岸啓祐少尉ご実弟の山岸修次様のご挨拶をいただきました。その後、参加者全員で「海ゆかば」を合唱して約350名の出

席者全員で戦没予科練生の慰霊と日本の平和を祈る時間を過ごすことができました。

- 本年度は、海上自衛隊小月航空基地から入校中の第70期航空学生40名が空路参加し「若鷺の歌」を奉唱する予定でしたが、航空機の機体不都合により急遽取りやめになりました。

このため、陸路移動した小月教育航空群司令以下3名の学生に代表で参加していただきました。

(c) 直 会

慰霊式典に引き続き、約350名のご遺族並びにご来賓の皆様と伴に、直会を実施しました。直会では、葉梨衛茨城県議会議員の挨拶、吉田憲市阿見町町議会議長のご発声による献杯に引き続き勝田駐屯地施設学校音楽隊の伴奏により第70期航空学生3名が航空学生之歌を披露いたしました。

- d 慰霊祭開催にあたりご協力を戴いた団体等及び内容は以下のとおりです。

陸上自衛隊武器学校（武器教導隊）：式典会場整備・国旗掲揚&献火隊員の派遣

陸上自衛隊武器学校OB会：慰霊祭実行委員会への勤務員の派遣

陸上自衛隊施設学校：施設学校音楽隊の派遣

海上自衛隊下総航空基地：儀仗隊&献火隊員の派遣

海上自衛隊小月航空基地：小月航空基地所属航空学生の派遣

阿見町予科練平和記念館：記念館の無料開放及び駐車場の貸出し

阿見町交通安全母の会：慰霊祭実行委員会への勤務員の派遣

阿見町更正保護女性の会：慰霊祭実行委員会への勤務員の派遣

学校法人霞ヶ浦高等学校：慰霊祭実行委員会への勤務員の派遣

甲飛喇叭隊：慰霊祭実行委員会への勤務員の派遣

日の丸飛行隊：慰霊飛行の実施

- e 慰霊祭開催にあたり後援を戴いただいた機関は以下のとおりです。

阿見町、阿見町教育委員会

(ウ) 慰霊祭反省会

6月25日（水）13時から武器学校広報班において、反省会を実施しました。

海原会からは、平野理事、徳永支部長、湯原会員の3名が出席、支援していただいた武器学校OB会の代表及び広報班の担当者に出席していただき、第53回慰霊祭に向けて貴重な意見を聴取す

ることができました。

(2) 全国各地で举行された慰霊祭等への参加

- 令和元年 5月 26日 つくば海軍航空隊慰霊祭  
於：つくば海軍航空隊記念館  
酒井副理事長、平野理事が参加
- 6月 21日 第47回静岡空襲日米合同慰霊祭  
於：静岡市内賤機山山頂  
菅野副理事長が主催、脇田参与が参加
- 7月 6日 大東亜戦争全戦没者慰霊祭 於：靖国神社  
行方参与、山下参与が参加
- 7月 17日 雄飛会永代供養神楽祭  
於：靖国神社
- 9月 23日 第68回特攻平和観音年次法要  
於：世田谷観音寺内特攻観音堂  
安井副理事長、豊岡監事、脇田参与が参加
- 10月 19日 武器学校開設記念行事  
於：陸上自衛隊土浦駐屯地  
台風19号に伴う災害派遣のために中止になりました。
- 令和2年 3月 28日 陸上自衛隊土浦駐屯地観桜会  
於：陸上自衛隊土浦駐屯地  
新型肺炎ウイルスの感染拡大のために中止になりました。
- 3月 30日 特攻隊全戦没者慰霊祭  
於：靖国神社  
新型肺炎ウイルスの感染拡大のため中止になりました。

## 2 顕彰事業

(1) 遺書・遺品・実戦記録等の整備事業

ア 海原会ではご遺族に残された遺書・遺品・実戦記録などを収集して、後世に伝えるための事業を着実に推進しています。令和元年度は、ご遺族等から提供いただいた15点の遺品等を整理保管いたしました。

イ ご遺族から新たな遺影2点を提供していただき雄翔館内に展示しまし

た。

## (2) 遺族支援調査

ア ご遺族も年々亡くなられて、親の代から兄弟・姉妹へと移り、中には孫の代になり、世情も戦争犠牲者への関心が薄れだんだん風化されつつある現状に鑑み、音信不通のご遺族の所在を調査して会報を送付し、また本会主催の慰霊祭は勿論のこと、各地各期が催す慰霊祭に積極的に参加し、ご遺族の啓蒙と当会への入会の促進を図ってきました。本年度は新たに2名の御遺族を特定することができ2名の方が入会していただきました。

イ 本年度は特に、祖父や父親が元生存予科練であったという方からの連絡や入会の問い合わせが増加しました。会で現在の会員の状況を確認したところ同じ環境の会員約20名が所属しており、今後会として連携を強化していく必要性を強く感じています。

そのためにも、第53回予科練戦没者慰霊祭では前夜の偲ぶ集いの二次会で関係者に対して懇親の場を提供して情報交換の機会を提供したと考えています。

## (3) 海原会会員の入退会状況

本年度は、66名の方が退会され新たに24名の方が入会されました。年度末現在における会員数は、620名です。

## (4) 陸上自衛隊との連携

当会の最重要事業である予科練戦没者慰霊祭を催行するにあたり、多くの協力をいただいている陸上自衛隊武器学校（武器教導隊を含む）及び陸上自衛隊施設学校との連携の強化を図りました。

ア 武器学校観桜会への参加

4月7日（日）に土浦駐屯地で開催された、観桜会に酒井副理事長、平野事務局長、徳永霞ヶ浦支部長、助村理事が参加した。

イ 武器学校開設記念行事

10月19日（日）に予定されていた陸上自衛隊土浦駐屯地開設66周年記念行事は台風19号に伴う災害派遣活動の為に中止となりました。

ウ 土浦駐屯地観桜会

3月28日に予定していました土浦駐屯地観桜会は、新型肺炎ウイルスの感染拡大のために中止になりました。

エ 施設学校音楽隊後援会総会への出席

5月18日（土）ワークプラザ勝田で行われた後援会の総会に酒井副理事

長が出席しました。

オ 施設学校音楽隊定期演奏会への出席

3月7日に予定していましたが、施設学校音楽隊定期演奏会は新型コロナウイルスの感染拡大のために中止になりました。

(5) 海上自衛隊との連携

予科練教育制度を継承している海上自衛隊航空学生の皆さんに、戦没予科練生の遺訓を伝承するために以下のような活動を行いました。

ア 航空学生の入隊式に参列

菅野理事長が、4月7日(日)に行われた第71期航空学生の入隊式に参列しました。

イ 海上自衛隊航空学生の雄翔館研修支援

本年度の研修は、予科練戦没者慰霊祭への参加に代えて見送られました。

ウ 下総航空基地開設記念行事

10月26日に開催予定の下総基地開設記念行事は、台風19号に伴う災害派遣のため中止になりました。

エ 下総航空基地観桜会

3月25日に予定していましたが下総航空基地観桜会は新型コロナウイルスの感染拡大のために中止になりました。

(6) 阿見町との連携

ア 予科練平和記念館運営協議会

7月22日(月)・12月23日(日)・3月23日(月)に開催され、委員として平野専務理事が出席しました。

イ 講演会の開催

予科練平和記念館との共催による講演会を次のとおり開催した。約90名の参加がありました。

(ア) 講師 海原会顧問 池 太郎 氏

(イ) 日時 5月25日(土) 14時から15時半

(ウ) 場所 霞公民館

(エ) 演題 「海軍の伝統」

ウ 予科練平和記念館開設10周年記念行事への参加

(ア) 日時 2月2日(日) 午前10時～12時

(イ) 場所 予科練平和記念館

(ウ) 参加者 酒井副理事長・平野専務理事・戸張会員

(エ) 内容

予科練平和記念館の運営に対する長年の協力に感謝して、阿見町町長から感謝状が授与され、酒井副理事長が海原会を代表して授受しました。

## II 定期刊行物発行业

機関誌月刊「予科練」は、発刊以来457号を数えております。

その編集にあたっては、全国各会の活動状況の紹介や、予科練同窓の戦争体験談等ご遺族の皆様にご喜ばれるような内容の充実に力を入れてきました。

引き続き投稿を依頼するなど内容の充実に図っていきたいと思います。

また、同誌に投稿をしていただいた方に記事が掲載された機関誌を贈呈することにより会員以外の購読者の発掘につなげることができました。

### 1 編集会議

計画どおり、年間6回の編集会議を海原会事務局会議室で行いました。

また、高齢となった予科練同窓に代わり一般の会員の中から1名を編集委員に指名することができました。

### 2 機関誌の発行

計画どおり、第452号から第457号まで6回の機関紙の発行を行いました。

## III 青少年育成支援事業

今年度は、阿見町子ども会育成連合会から助成の申請があり、理事会で助成の可否を検討した結果承認を得たので、6月28日に徳永支部長が連合会長に助成金を交付しました。

## IV 庶務事項

### (1) 理事会開催

月1回の定例理事会を海原会事務局会議室において、計画どおり実施しました。

平成31年4月18日、令和元年5月16日、6月13日、7月18日、8月22日、9月19日、11月14日、12月19日、令和2年1月16日、2月13日

※10月の理事会は台風19号の接近、および3月の理事会は新型コロナウイルス感染拡大の影響で役員の安全を確保するため中止としました。

### (2) 令和元年度評議員会開催



令和元年6月13日 霞ヶ関ビル東海大学交友会館において、平成31年度事業計画・収支予算書、平成30年度事業報告に関する報告を行うとともに・平成30年度の収支決算報告・会計報告について審議を行い、賛成多数で承認されました。

(3) 大森事務局の移転について

大森事務局を茨城県阿見地区に移転することについて、今後理事会において検討を開始することを協議しました。

令和2年度の評議員会で、海原会として移転を前提とした検討を推進し、令和3年度の評議員会において具体的な移転要領等に関して決議することになりました。

(4) 会計監査

平成31年4月18日(木) 海原会会議室において、令和元年度の評議員会の開催に先立ち、平成30年度の経費執行状況について監事2名による監査を実施し、平成30年度海原会の事業運営及び経費執行に関して問題のないことを確認しました。

(5) 内閣府公益認定委員会事務局による定期立ち入り検査

6月19日(水) 内閣府公益認定委員会事務局員2名による定期立ち入り検査を受検しました。海原会からは酒井及び安井職務執行理事、平野専務理事並びに加藤顧問会計士が立ち合いました。

平成29年度の事業報告書に基づき法人の運営状況について検査を受け、書類の記載不備事項を数点指摘されたものの会の運営は合規適正に行われており問題はない旨の評価を頂きました。

令和元年度に公益財団法人海原会が実施した事業を以上のとおり報告する。

公益財団法人 海原会

理事長 菅野 寛也